

令和7年度第2回長崎県鳥インフルエンザ警戒連絡会議 次第

日 時 : 令和7年11月25日 15:30～
場 所 : 県庁3階災害対策本部室・特別会議室

- 1 宮崎県日向市における鳥インフルエンザ発生状況について
- 2 県内での防疫対応等に関して
- 3 食の安全・安心に関する対応について
- 4 野鳥における鳥インフルエンザの対応について
- 5 健康危機管理対策本部の対応について

長崎県鳥インフルエンザ 警戒連絡会議資料 【農林部】

令和7年11月25日

発生状況等①

I 発生農場の概要

- ・ 所在地：宮崎県日向市
- ・ 飼養状況：約4.8万羽（肉用鶏）



発生状況等②

2 経緯

- (1) 11月21日（金）、宮崎県は、日向市の肉用鶏農場から、死亡鶏が増加したとの通報を受け、農場への立入検査を実施。
- (2) 当該家きんについて、鳥インフルエンザの簡易検査で陽性を確認。
- (3) 11月22日（土）、当該家きんについて遺伝子検査の結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。
（九州1例目）

防疫対応

- 11月22日 午前8時 発生農場での殺処分を開始
- // 周辺農場の移動制限措置、消毒ポイントでの車両消毒を開始
- 午後10時10分 殺処分完了
- 11月23日 午前11時 埋却、消毒等の防疫措置完了

農場等での防疫措置に係る従事者は、2日間で延べ480名（県、県建設業協会、JA、関係自治体など関係団体・企業等）



○制限区域内の飼養状況

区域	農場数	飼養羽数
移動制限区域（～3km）	9	約59万羽
搬出制限区域（3～10km）	49	約174万羽

○消毒ポイント

	設置道路	設置場所
①	広域農道	日向市塩見11506 (JAみやざき日向地区本部農業センター)
②	国道10号	門川町南部6丁目1番 (門川町総合文化会館)
③	国道10号	日向市財光寺1942 (サンドーム日向)
④	国道327号	日向市東郷町山陰丙1410 (東郷体育館)

（宮崎県公表資料より）

今シーズンの国内での発生状況

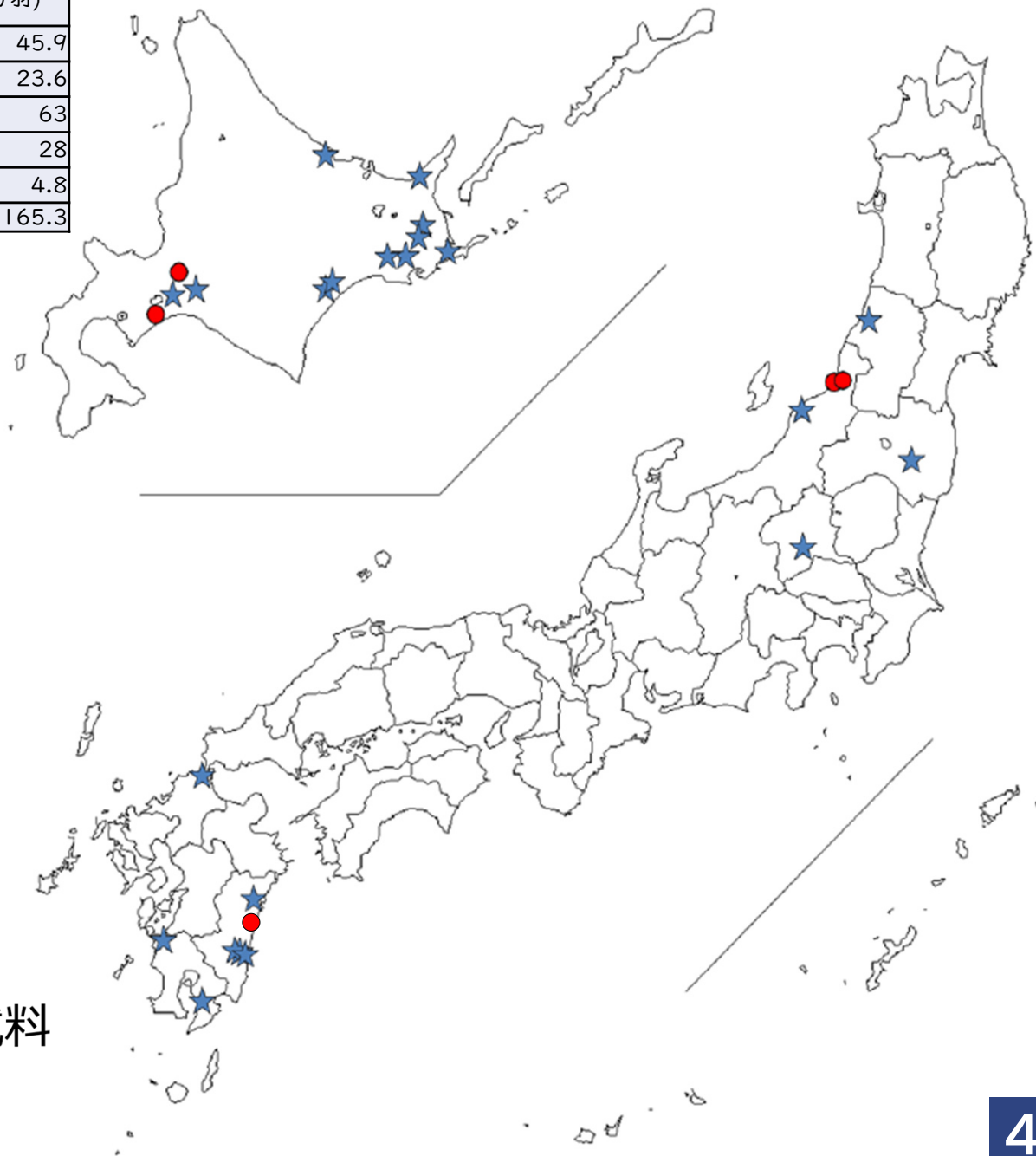
事例	発生県	市町名	疑似患畜 確定日	用途	殺処分 羽数(万羽)
1	北海道	白老町	10月22日	採卵鶏	45.9
2	北海道	恵庭市	11月2日	採卵鶏	23.6
3	新潟県	胎内市	11月4日	採卵鶏	63
4	新潟県	胎内市	11月9日	採卵鶏	28
5	宮崎県	日向市	11月22日	肉用鶏	4.8
計					165.3

(令和7年11月22日時点)

●家きん3道県で5事例の発生

●野鳥を含めると8道県での確認

● 家きん
★ 野鳥・環境試料



本県の防疫対応

異状の有無の確認及び注意喚起

- ・ 随時、発生情報等を全家きん農場及び関係団体等へ提供し、注意喚起を実施。
- ・ 令和7年10月24日（金）から、毎週末に家きん農場に対し、注意喚起及び異状の有無の確認を実施（令和8年5月まで継続予定）。
- ・ 令和7年11月10日（月）から11月28日（金）までを実施期間として、家きん農場を対象に一斉緊急消毒を実施。以降の継続実施について指導。

本県の防疫対応

1 家きん飼養農場に立ち入り飼養衛生管理基準の遵守確認

- ・衛生管理区域に立ち入る者の手指消毒等
- ・衛生管理区域専用の衣服及び靴の設置並びに使用
- ・衛生管理区域に立ち入る者の手指消毒等
- ・家きん舎に立ち入る者の手指消毒等
- ・家きん舎ごとの専用靴の設置並びに使用
- ・野生動物の侵入防止のためのネット等の設置、点検及び修繕
- ・ねずみ及び害虫の駆除

等

◎不備が確認された家きん飼養農場には改善指導

2 ながさき家畜防疫の日の啓発

毎月1日の日には、飼養衛生管理基準重点項目のセルフチェックを行うよう啓発

3 強化モニタリングの実施

10月から3月にかけて、県内14農場においてモニタリング検査を実施

長崎県鳥インフルエンザ 警戒連絡会議資料 【県民生活環境部】

令和7年11月25日

食の安全・安心に関する対応について

1. 食鳥処理場における確認事項

(1) 発生農場からの搬入状況

処理場の名称	所在地	搬入の有無	羽数	措置状況
A 処理場	諫早市	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	羽	
B 処理場	諫早市	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	羽	
C 処理場	島原市	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	羽	
D 処理場	佐世保市	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	羽	

(2) 本日（11月25日）の検査状況

処理場の名称	異常の有無	異常の状況
A 処理場	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
B 処理場	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
C 処理場	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
D 処理場	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	

※食鳥検査：生体時に外観や動作に異常がないか、死んでいる鶏が異常に多くないかといったことの確認、及び解体後に内臓等に病変がないかといった検査を実施

2. 鶏肉・鶏卵の安全性にかかる風評被害の発生防止

内閣府食品安全委員会が示している「鶏肉・鶏卵は安全であり、それらを食べることで感染することはない」という考え方をホームページでお知らせするとともに、保健所の協力を得ながら、県民からの相談等に応じる体制を整えております。

鶏肉・鶏卵の安全性にかかる風評被害の発生防止（Ⅰ）



2004年 3月11日

(注) 2014年 4月24日更新

鳥インフルエンザについて 鶏肉・鶏卵の安全性に関する食品安全委員会の考え方

鶏肉・鶏卵は「安全」と考えます。

我が国の現状においては、以下の理由から、鶏肉や鶏卵を食べることにより、鳥インフルエンザ(ウイルス)がヒトに感染する可能性はないと考えています。

- ・ ウイルスがヒトの細胞に入り込むための受容体は**鳥の受容体とは異なること**
- ・ ウイルスは酸に弱く、**胃酸で不活化**されることが考えられること

(注) 高病原性鳥インフルエンザと低病原性鳥インフルエンザをともに対象にした考え方です。

☆ **海外への渡航の場合は、注意が必要です。** → [補足]参照

☆ 我が国の鶏肉や鶏卵については、発生時の家畜防疫上の措置や日々の殺菌・消毒等の衛生管理が実施されています。 → [参考情報]参照

☆ なお、食中毒予防の観点から、鶏肉を食べる場合は、生で食べることはひかえ、中心部までよく加熱する等十分注意してください。

〔補足〕

海外(主に東南アジア等)への渡航の場合は、以下の注意が必要です。

1. 海外(主に東南アジア等)ではヒトへの感染事例が報告されていますが、感染機会としては、本病に感染した鶏の羽をむしる・解体するといった作業に従事したとき、感染した闘鶏の世話をしたとき、感染しても特に症状を示さないアヒルと直接接触したときなどが報告されています。また、まれなケースとして、感染したアヒルの生の血液を使用した料理を食べたときなどが考えられると報告されています。さらに、中国ではH7N9亜型(注1)の低病原性鳥インフルエンザが流行し、主として家きんと接触したヒトへ感染した例が確認されています。

そのため、海外へ渡航の際は生きた鶏など家きんのいる市場や家きんを解体している場所への立入りは避け、万一、鳥と接触した場合には手をよく洗ってください。

2. 鶏などの家きんに鳥インフルエンザ(注2)等が集団発生している地域(東南アジア等)では、鶏肉や鶏卵を含む、家きんの肉や家きん由来製品については、食中毒予防の観点からも、十分な加熱調理(全ての部分が70℃に到達すること)や適切な取扱いをすることが必要です。

注1) H7N9は鳥には低病原性ですが、ヒトでは重症化することもあります。

2) 高病原性鳥インフルエンザは、H5N1のほか、H5N2、H5N8、H7N3、H7N7等が確認されています。

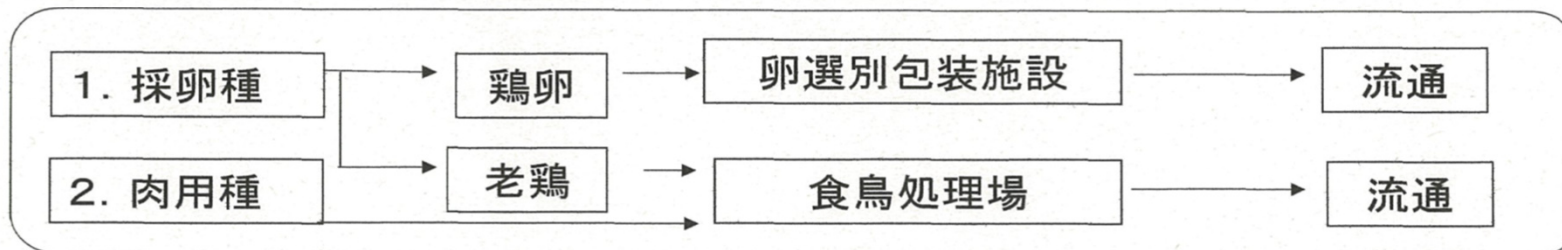
3) 最近までのWHO等による情報を確認して更新しました。

鶏肉・鶏卵の安全性にかかる風評被害の発生防止（2）



〔参考情報〕

1. 我が国においては、鳥インフルエンザが発生した場合には、感染鶏や同一農場の鶏は全て殺処分されるなどの家畜防疫上の措置が行われるため、本病に感染した鶏等が市場に出回ることはありません。
2. さらに、我が国で生産される鶏肉・鶏卵は、以下の安全のための措置が講じられています。
 - 国産の鶏卵は、通常、厚生労働省の定める「衛生管理要領」に基づき、卵選別包装施設（GPセンター）において、次亜塩素酸ナトリウムなどを含む洗浄水で洗卵・消毒されています。
 - 国産の鶏肉は、食鳥処理場において生体検査が実施されています。このため、病気にかかっている疑いのある鶏は食用にされません。



鶏肉・鶏卵の安全性にかかる風評被害の発生防止（3）

啓発チラシ

**ご安心ください、流通している
鶏肉や鶏卵は安全です。**

長崎県内において「高病原性鳥インフルエンザ」の発生が確認されておりますが、長崎県では徹底した防疫措置を講じており、感染拡大の防止と安全・安心な鶏肉や鶏卵の供給を図っております。



これまで、鶏肉や鶏卵を食べることにより
鳥インフルエンザが人に感染した事例は
報告されていません。

長崎県産の鶏肉・鶏卵の利用や
風評被害の防止にご理解ご協力をお願いします。



 長崎県



発行：長崎県 食品安全・消費生活課
（電話：（095）895-2366）

長崎県鳥インフルエンザ 警戒連絡会議資料 【野鳥に関する対応について】

令和7年11月25日

野鳥における鳥インフルエンザの調査状況

○環境省が定める対応レベルに応じた
『死亡野鳥等調査』を実施

現在は「**対応レベル3**」の対応を実施中

○県内での調査状況（R7年9月～）

検査数 1羽（11/21 17時現在）
（「陰性」 1羽）

○全国の野鳥における鳥インフルエンザ発生状況
R7年9月～ 35件（11/21現在）
（北海道 16、鹿児島8、宮崎県5、福岡1 他）

○ 宮崎県日向市の発生農場周辺10km圏内が、環境省により『野鳥監視
重点区域』に指定され、宮崎県により**野鳥の監視が強化**されています。

＜発生状況に応じた対応レベルの概要＞

発生状況 \ 対象地	全 国
通常時	対応レベル1
国内単一箇所発生時	対応レベル2
国内複数箇所発生時	対応レベル3
早期警戒期間（9月～10月）	対応レベル3

※対応レベルが上がると、より少ない死亡個体数で検査

＜過去3年間の県内の調査結果＞

年 度	検査羽数	結 果
R4年度	13	陽性2、陰性11
R5年度	20	陽性1、陰性19
R6年度	7	陰性7

死亡野鳥等に対する県民の皆様へのお願いについて

○野鳥との接し方については、HP等において、従来より以下のとおり周知しています。

県民の皆様へのお願い（野鳥との接し方について）

鳥インフルエンザウイルスは、野鳥観察など通常の接し方では、ヒトに感染しないと考えられています。
正しい情報に基づいた、冷静な行動をお願いいたします。

- 同じ場所でたくさんの野鳥などが死亡している場合には、県庁、最寄りの県振興局総務課、市役所または町役場へご連絡ください。
- 死亡した野鳥など野生動物の死亡個体を片付ける際には、素手で直接触らず、使い捨て手袋等を使用してください。
- 日常生活において野鳥など野生動物の排泄物等に触れた後には、手洗いとうがいをしていただければ、過度に心配する必要はありません。

- 野鳥の糞が靴の裏や車両に付くことにより、鳥インフルエンザウイルスが他の地域へ運ばれるおそれがありますので、野鳥に近づきすぎないようにしてください。特に、靴で糞を踏まないよう十分注意して、必要に応じて消毒を行ってください。
- 不必要に野鳥を追いつたり、つかまえようとするのは避けてください。

【県の連絡先】

連絡先（担当部局）	代表電話	直通電話
県民生活環境部自然環境課	代表 095-824-1111	自然環境課 095-895-2381
島原振興局管理部総務課	代表 0957-63-0111	総務課 0957-63-5036
県北振興局管理部総務課	代表 0956-23-4211	総務課 0956-22-0374
五島振興局管理部総務課	代表 0959-72-2121	総務課 0959-72-4852
壱岐振興局管理部総務課	代表 0920-47-1111	総務課 0920-47-4396
対馬振興局管理部総務課	代表 0920-52-1311	総務課 0920-52-1206

長崎県鳥インフルエンザ 警戒連絡会議資料 【福祉保健部】

令和7年11月25日

福祉保健部の対応について

Ⅰ.県内で家きんに鳥インフルエンザが発生した場合の対応

(Ⅰ) 防疫作業従事者の健康管理と補助等

①動員者リストの作成

防疫作業従事者の健康管理及び防護服着脱補助のため、約340名(県内10保健所及び福祉保健部より動員)の動員者リストを作成済み。

防疫作業の規模に応じ最大41人の動員班を8.5時間交代で編成し、現地に派遣。

②必要装備品の在庫量の確認(各保健所へ装備)

健康調査等に要する血圧計、体温計、手指消毒薬等の在庫量を確認済み。防疫作業における後方支援センターへ動員者が現地へ持参。

○自動血圧計： 43台

○体温計： 337本

○手指消毒薬： 56ℓ

○酒精綿： 200枚入り67箱

○消毒用エタノール： 189ℓ

福祉保健部の対応について

③防疫作業従事者への注意喚起

防疫作業従事者に対し、3、4ページ掲載の配布資料1及び2を用いて現地で防疫作業従事前の説明。

(2) 養鶏農場の従業者に対する健康調査

養鶏農場の従業者に対し健康調査を行い、鳥インフルエンザウイルス感染を疑う発熱等の症状を呈していないか確認。健康調査の結果、無症状の場合は、健康観察として、1日2回の体温測定及び保健師による問診を10日間行う。

2. 県民への対応

一般の住民の方へ、鳥インフルエンザに関する正しい知識や相談窓口を設置し、その周知を図るためホームページを開設。
(5ページ配布資料3参照)

配布資料Ⅰ 防疫作業従事者用①

保健所

防疫作業に従事いただく皆様へ

防疫作業従事大変お疲れ様です。

鳥インフルエンザは、この病気にかかったトリと接触して、羽や粉末状になったフンを吸い込んだり、そのトリのフンや内臓に触れた手を介して鼻からウイルスが入ったりするなど、ヒトの体内に大量のウイルスが入った場合に、ごくまれにかかることが知られています。

ヒトが鳥インフルエンザにかかったことが確認された例は、感染防御の対策を取らずに極めて無防備な状態で、鳥インフルエンザに感染したトリと濃厚な接触があった場合に限られます。

なお、防疫作業に従事するにあたって次を熟読のうえ、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

※防疫作業従事者除外基準に該当する方は防疫作業に従事できません。

【防疫作業従事者除外基準】

- ・慢性心疾患で通院加療中の者
- ・慢性呼吸器疾患で通院加療中の者（喘息を含む）
- ・慢性腎疾患の者
- ・免疫機能不全の者
- ・鳥アレルギーの者
- ・アルコール禁忌の者
- ・医師から重度の肉体労働を止められている者

(1) 作業従事前の健康調査

防疫作業を行う前に保健所による健康調査を受けてください。事前に鳥インフルエンザ防疫従事者問診票の所定の事項に記入するとともに、体温を測定し記入してください。

(2) 作業中の留意事項

- ①脱水症を起こさないよう、十分に水分を取ってください。
- ②作業中のけがや、気分や体調が悪くなった場合は無理をせず、すぐに申し出てください。
- ③防護服等を脱ぐ際は、脱衣方法を守り、感染の防止に注意してください。
- ④作業中、防護服等に不備があった場合、すぐに責任者に申し出るとともに指示に従って下さい。

(3) 作業終了後の健康調査

- ①作業終了後の健康状態を把握するため、健康調査を行います。
- ②作業に従事した方は、必ず終了後の健康調査を受けてください。

(4) 作業終了後の経過観察

最終作業日の翌日から10日間は、必ず健康観察（体温、呼吸器症状、その他自覚症状等）を行い、その結果を防疫作業従事者用体温記録用紙に記入してください。なお、健康観察終了後、お渡した当該様式は各自で処理してください。

体調に異常がみられた場合は、直接病院を受診せず、必ず最寄りの保健所にご連絡ください。

（保健所の連絡先は裏面に記載しています）

体調に異常が見られた場合は、直接病院を受診せず、必ず下記の最寄りの保健所へご連絡をお願いします。

保健所名・県庁	住 所	電話番号
長崎市保健所	長崎市魚の町4-1	095-829-1153
佐世保市保健所	佐世保市高砂町5-1	0956-24-1111
西彼保健所	長崎市滑石1-9-5	095-856-0691
県央保健所	諫早市栄田町26-49	0957-26-3304
県南保健所	島原市新田町347-9	0957-62-3289
県北保健所	平戸市田平町里免1126-1	0950-57-3933
五島保健所	五島市福江町7-2	0959-72-3125
上五島保健所	新上五島町有川郷2254-17	0959-42-1121
壱岐保健所	壱岐市郷ノ浦町本村触620	0920-47-0260
対馬保健所	対馬市厳原町宮谷224	0920-52-0166
県地域保健推進課	長崎市尾上町3-1	095-895-2466

配布資料 2 防疫作業従事者用②

鳥インフルエンザ防疫作業従事者の皆様へ

従事後の精神的ストレスセルフチェックのお知らせ

お疲れ様です。

鳥インフルエンザにおける防疫作業への従事、ご苦勞様でした。

通常業務と異なる作業で、ストレスも大きかったことと思います。

大きなストレスを受けると、心身に様々な形で現れます。

例えば、寝つきが悪くなったり、作業の夢をみたり、作業の事が頭を離れなかったり等があります。

多くの場合、これらのことは時間とともに軽減します。

しかし、中にはいつもの状況に回復するのに長い時間を要したり、専門家の協力を受けながら、回復することもあります。

作業従事後、概ね2週間以降に皆様にストレス調査表を送信させていただきますので、「防疫作業後ストレス調査票」によるセルフチェックを行い、ご自身のこころの状況について、確認していただければ幸いです。

なお、ご記入いただいた調査票は支障がなければ、下記のアドレスまでご返信ください。

職員厚生課では心身の健康に関するご相談をお受けしています。

体調面等で気になることがございましたら、お声かけください。

県職員厚生課 健康管理班

TEL 095-895-2163

E-mail genki@pref.nagasaki.lg.jp

防疫作業後ストレス調査票

《 この調査票は、職員厚生課の健康管理スタッフ以外は見る事が出来ません 》

所 属	氏 名	年 齢	職員番号

あなたの健康状態についてお聞きします。		記入日： 年 月 日				
★ ここ数週間の健康状態で、当てはまる項目に○をつけて下さい。						
項 目	2	2点	1	1点	0	0点
1. 気分や体の調子がすぐれない		よくある		時々ある		ほとんどない
2. 体のだるさや疲労感を感じる		よくある		時々ある		ほとんどない
3. 気持ちがぼんやりして、物事に集中できない		よくある		時々ある		ほとんどない
4. 仕事に対して自信を失っている		よくある		時々ある		ほとんどない
5. 寝付きが悪かったり、途中で目覚めてしまう		よくある		時々ある		ほとんどない
6. 食欲がなかったり、味がしないことがある		よくある		時々ある		ほとんどない
7. 飲酒や喫煙の量が増えた		よくある		時々ある		ほとんどない
8. 普段楽しみにしていたことが楽しめない		よくある		時々ある		ほとんどない
9. 周囲に理解してくれる人がいないと感じる		よくある		時々ある		ほとんどない
10. ちょっとしたことイライラする		よくある		時々ある		ほとんどない
11. 急に動悸がしたり、不安な気持ちになる		よくある		時々ある		ほとんどない
12. 気分がゆううつで、あまり人と話したくない		よくある		時々ある		ほとんどない
13. 生活や仕事に対して焦燥感がある		よくある		時々ある		ほとんどない
14. 防疫作業時のことが、いきなり頭に浮かぶ		よくある		時々ある		ほとんどない
15. 防疫作業のニュースを見ると涙がにじむ		よくある		時々ある		ほとんどない
16. 防疫作業時を思い出すと、汗ばんだり、息苦しくなったり、動悸がする		よくある		時々ある		ほとんどない
17. 防疫作業時のことは、現実ではなかったような気がする		よくある		時々ある		ほとんどない
18. 神経が敏感になっていて、ちょっとしたことでドキドキする		よくある		時々ある		ほとんどない
19. 防疫作業のことを意識して思い出さないようにしている		よくある		時々ある		ほとんどない
20. 生活していることに後ろめたさを感じる		よくある		時々ある		ほとんどない
21. 緊張感が続いている		よくある		時々ある		ほとんどない

体調面で気になること等があれば、ご記入ください。

--

配布資料 3 県民の皆様用

住民の皆様へ(鳥インフルエンザの発生について)

〇〇町の養鶏場で鳥インフルエンザによるニワトリの集団死の事案が発生いたしましたが、現在までの調査では、それらのニワトリと接触があったと思われる養鶏場の従業員の方などに健康被害は発生していません。

一般の住民の方が日常生活の中で鳥インフルエンザに感染することはありませんのでご安心ください。

1. 鳥インフルエンザウイルスの人への感染について

人については、この病気にかかった鶏と接触して、羽や粉末状になったフンを吸い込んだり、触れたりすることによって、大量のウイルスが体内に入ってしまった場合に、ごくまれにかかることが知られています。

したがって、今回の農場の近くに住んでいたり通ったりすることで感染することはありません。日本では、この病気にかかった鶏等は安全に処分されており、通常の生活で病気の鳥と接触したり、フンを吸い込むようなことはほとんどないことから、住民の皆さんが鳥インフルエンザに感染する可能性はきわめて低いと考えられます。

なお、今回濃厚な接触のあった養鶏場の従業員の方などの健康調査を行っておりますが、現在のところ異常はありません。

2. 人の健康相談窓口

保健所 電話

3. インターネットによる情報発信

診断治療方法のみならず、発生状況やよく尋ねられる質問への回答などが掲載されておりますのでご利用下さい。

●厚生労働省ホームページ

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000144461.html>

●国立感染症研究所ホームページ

http://idsc.nih.go.jp/disease/avian_influenza/index.html

●農林水産省ホームページ

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/>

●動物衛生研究所

https://www.naro.go.jp/laboratory/niah/tori_influenza/index.html 県庁ホームページ

●厚生労働省検疫所ホームページ(海外渡航者のための感染症情報)

<https://www.forth.go.jp/topics/fragment2.html>

●県庁ホームページ

https://www.pref.nagasaki.jp/info_toriinfuru/



鳥インフルエンザ(ヒトの健康に関すること)

鳥インフルエンザウイルスの人への感染について

ヒトについては、この病気にかかった鳥類と接触して、羽や粉末状になったフンを吸い込んだり、触れたりすることによって、大量のウイルスが体内に入ってしまった場合に、ごくまれにかかることが知られています。

日本では、この病気にかかった鶏等は安全に処分されており、通常の生活で病気の鳥と接触したり、フンを吸い込むようなことはほとんどないことから、住民の皆さんが鳥インフルエンザに感染する可能性はきわめて低いと考えられます。

高病原性鳥インフルエンザとは

鳥インフルエンザのなかでも、鶏に感染させた場合に、高率に死亡させてしまうようなものを高病原性鳥インフルエンザといいます。その原因となるウイルスは高病原性鳥インフルエンザウイルスといいます。

高病原性鳥インフルエンザウイルスとしては、A/H5 亜型のもの A/H7 亜型のものが知られています。

鳥インフルエンザと新型インフルエンザとの関連

鳥インフルエンザ=新型インフルエンザではありません。

鳥類に対して感染性を示す A 型インフルエンザウイルスによる感染症が、鳥インフルエンザです。一方、新型インフルエンザは、既知の鳥インフルエンザウイルスや豚インフルエンザウイルスの遺伝子が増え、ヒトからヒトへと効率よく感染する能力を獲得した、新たな遺伝子を持つインフルエンザウイルスによる感染症です。

鳥インフルエンザの御相談窓口

鳥インフルエンザについて、ご相談は最寄の保健所までお尋ねください。

保健所名	住所	電話番号	保健所名	住所	電話番号
長崎市保健所	長崎市魚の町4-1	095-829-1153	佐世保市保健所	佐世保市高砂町5-1	0956-24-1111
西彼保健所	長崎市滑石 1-9-5	095-856-0691	五島保健所	五島市福江町7-2	0959-72-3125
県央保健所	諫早市栄田町26-49	0957-26-3304	上五島保健所	新上五島町有川郷2254-17	0959-42-1121
県南保健所	島原市新田町347-9	0957-62-3289	壱岐保健所	壱岐市郷ノ浦町本村620	0920-47-0260
県北保健所	平戸市田平町里免1126-1	0950-57-3933	対馬保健所	対馬市厳原町宮谷224	0920-52-0166
県地域保健推進課	長崎市尾上町3-1	095-895-2466			